

支部便り

技術講演会「輸送機器の軽量化のためのアルミニウム合金の適用」報告 Report on technical lectures “Applications of aluminum alloys for lightweighting of transportations”

高山 善匡*

Yoshimasa TAKAYAMA*

軽金属分野の企業関係者に軽金属学会とその活動を広報することを目的として、平成28年7月7日(木)に関東支部主催の技術講演会「輸送機器の軽量化のためのアルミニウム合金の適用」を開催した。今回は、栃木県と近県の企業を主な対象とし、栃木県産業技術センターおよび宇都宮大学地域共生研究開発センターの共催を得て、栃木県産業技術センター多目的ホール(宇都宮市)で開催した。

講演会の講演題目、講師およびその内容は、以下の通りである。

(1)「自動車における軽量化とアルミニウム合金の適用」

日産自動車株式会社 神戸 洋史 氏

- ①日産自動車(株)が取組んできた軽量化の歴史
- ②自動車におけるアルミニウム合金部品の適用動向
- ③アルミニウム合金鋳造部品の課題と対応

(2)「アルミニウム合金と輸送機器部品への適用技術」

株式会社神戸製鋼所 櫻井 健夫 氏

- ①アルミニウム合金(展伸用)の種類と特徴
- ②アルミニウム合金(展伸用)の輸送機器部品への適用事例
- ③輸送機器用アルミニウム合金(展伸用)の研究開発状況(材料、成形加工、接合)

(3) 総合討論・関連情報提供

数か月前から関東支部運営委員によるPR活動、栃木県産業振興協議会での案内配布等を行い、講師、主催・共催関係者を含め予想を上回る86名の参加を得ることができた。関東支部長挨拶、産業技術センター長挨拶に始まり、各約1時間の講演、総合討論約20分、軽金属学会の紹介、県関係行事等の紹介を行い、13:30~16:30のプログラムを終了した。技術講演会の様子を図1に示す。

参加者に対するアンケートを実施した結果、71名の回答を得た。その結果、参加者所属企業は、講演会の主題に関係して、その他製造業(自動車関連)が約50%と最も多く、続いてアルミニウム製品製造業17%、アルミニウム加工業10%、アルミニウム素材製造業8%の順であった。また、参加者のアルミニウムの利用・担当年数は、2~5年が最も多く24%、続いて未経験21%、1年以下16%、6~10年15%となっており、比較的経験の浅い参加者が多かったことがわかる。また、非会員(維持会員企業所属者を含む)が92%を占めた。講演会の評価を聞いた設問では、講演会全体では非常に良い29%、良い66%であり、講演1は非常に良い34%、良い56%、講演2は非常に良い37%、良い57%であり、およそ9割の参加者が高い評価を与えていることが明らかとなっ

た。また、開催場所について非常に良い64%と地理的な至便さが参加の重要な因子になったことがわかった。参加の動機は、知人の紹介31%、産業技術センターの案内26%、軽金属学会のホームページ16%が目立った。

以上のように、適切なテーマと開催場所の設定により、技術講演会を盛会のうちに終えることができた。今後も、学会の活動を企業関係者にご理解いただき、学会への入会の勧誘を行い、学会および関東支部のさらなる活性化の努力を進めたいと考えている。

最後に、技術講演会の講師を務めていただいたお2人はじめ、共催いただいた栃木県産業技術センターおよび宇都宮大学地域共生研究開発センター関係者、参加者の方々、支部運営委員に心より感謝申し上げる。

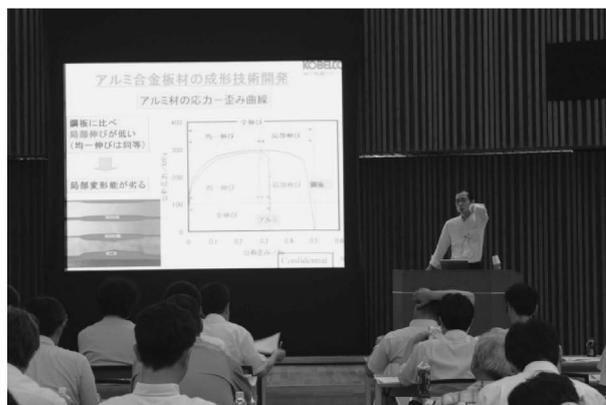


図1 技術講演会の様子

* 宇都宮大学大学院工学研究部循環生産研究部門(〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7-1-2) Faculty of Engineering, Utsunomiya University (7-1-2 Yoto, Utsunomiya-shi, Tochigi 321-8585) E-mail: takayama@cc.utsunomiya-u.ac.jp

受付日:平成28年9月9日